

# 自己評価報告書

実施日：2025年6月

学校名：大阪文化服装学院

## 1. 学校の教育目標

### 【経営理念】

社会への還元～ファッションで社会に貢献する～

### 【ビジョン】

日本で最も高い成果を上げ、アジアを牽引する発信力を持ち、世界から信頼されるファッション教育機関であり続ける

### 【育成人材像】

常に挑戦し続ける情熱と新しい価値観を発信できる独創性を持った、世界で活躍できるプロフェッショナル

### ■ 目標とする大阪文化服装学院像

1. 国際的に高い評価を受け、世界トップ校と対等に渡り合えることができ、アジア地区では最高レベルと認知されている
2. 国内アパレル業界から、西日本では圧倒的なNo1、全国でも確固たる評価を受け、求人や協業の依頼が集中する
3. 高校生など入学希望者から、国内で最もレベルの高い学校と認知され、特にモチベーションの高い学生から圧倒的な支持を受ける
4. 高校教員や保護者、また一般層からも、トップ校としての認知度が高く、メディアや企業など各方面からの情報提供、共同研究の第一のオファー先となっている

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 【重点目標】

引き続き「グローバル戦略」「DX教育の推進」「インキュベーションの促進」

の3つを当校の教育と運営の根幹をなす重点方針と位置づけ、そのうえで本年度は以下の4つの重点目標に取り組む

- ①2026年4月の校名変更とブランディングの先鋭化
- ②新学科（ブランドプロデュース学科）と新コース（VRファッションコース）の2026年度立ち上げに向けた準備
- ③退学者低減に向けた取り組み
- ④外国人や社会人に向けた公開講座等の開発

### 【特記事項】

織研新聞社主催「ファッションスクールアワード」で2024年度の大賞を受賞。

受賞理由として評価された主なポイント

- ・「国際感覚」と「デジタルスキル」を重視した教育
- ・年間約30件の多彩な産学連携企画
- ・国内外20名超の著名人による特別講義の実施
- ・主要コンテストで当年度10名のグランプリを獲得

### 3, 評価項目の達成および取組状況

1, 教育理念・目標			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名				
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。					
1	1	1	④	3	2	1	パンフレット、HP	
1	1	2	④	3	2	1	パンフレット、HP、 学生支援者会資料	
1	1	3	④	3	2	1	パンフレット、HP、 教職員会議資料	
1	1	4	④	3	2	1	講師会資料、 パンフレット、HP	
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか）					
1	2	1	④	3	2	1	パンフレット、HP、 プレスリリース	
1	2	2	④	3	2	1	理事会資料・議事録、 教育課程編成委員会議事録、 学校関係者評価委員会議事録、HP	
1	2	3	④	3	2	1	パンフレット、HP、 プレスリリース	
1	2	4	④	3	2	1	シラバス、学則	

#### ①課題

学校の教育理念や目標に関しては明文化し社内外に向けて公表しているが、2026年4月の校名変更に合わせて、次代を見据えた内容に精査、再検討していくことが必要。

## ②今後の改善方法

2025年度中に学内で検討を重ね、次代を見据えた学校の教育理念や目標を再策定し、理事会等でも承認を得、社内外に公表し周知徹底をはかる。

## ③特記事項

当学院は、2026年4月、現在の大阪文化服装学院から「ヴォートレイル ファッション アカデミー (VOUTRAIL THE FASHION ACADEMY)」に校名変更することを決定。

2, 学校運営				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス名
2	1	中 項 目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）					
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	④	3	2	1	学院会議議事録、教職員会議資料
2	2	中 項 目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）					
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	④	3	2	1	学院会議議事録、教職員会議資料
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	④	3	2	1	教育事業計画
2	3	中 項 目	中期計画（中期計画を作成し、運用しているか）					
2	3	1	中期計画の策定に向けて、教育理念（建学の精神）、教育目標等の再定義を含め、中長期的ビジョンや財務的な目標を設定しているか	4	③	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	3	2	中長期計画と事業計画は関連付けられているか	4	③	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	3	3	理事会に似て中長期計画を説明し、必要に応じて改善し、承認を得ているか	4	③	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	4	中 項 目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）					
2	4	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	4	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1	寄附行為、教職員会議資料

2	4	3	組織機能図があるか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事会議事録・資料
2	4	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的 に開催されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事 会議事録・資料、教職 員会議資料
2	4	5	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事 会議事録、HP
2	4	6	教職員（組織の構成員）それぞれの職務分掌が 文書化されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、理事 会議事録
2	4	21	出退勤管理簿があるか	④	3	2	1	勤怠管理システム
2	4	22	教職員の健康診断がされているか	④	3	2	1	教職員健康診断の案 内、就業規則、
2	4	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われている か	④	3	2	1	施設設備保守・管理点 検表
2	5	中 項 目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っている か）					
2	5	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	教職員名簿、履歴書
2	5	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行 っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指 導を行っているか	④	3	2	1	学院会議議事録（教職 員研修実施報告）
2	5	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	②	1	学生アンケート
2	5	4	教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1	教職員人員配置図、教 職員会議資料、
2	5	21	職員の能力開発のための研修等が行われている か	④	3	2	1	学院会議議事録（教職 員研修実施報告）
2	5	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得 するための研修や教員の指導力育成等資質向上 のための取組みが行われているか（研修等の効 果を評価し、文書により記録しているか）	④	3	2	1	自己啓発支援制度規 程、教職員の研究発表 に対する褒賞制度、海 外留学支援(教職員)規 程
2	5	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実 施しているか	④	3	2	1	目標設定シート及びレ ビュー
2	5	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野 の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や 指導力の修得・向上のための研修等を教員の業 務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組 織的・計画的に受講させているか	④	3	2	1	学院会議議事録（教職 員研修実施報告）

2	5	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	4	③	2	1	学院会議議事録（教職員研修実施報告）
2	5	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	④	3	2	1	講師会資料
2	5	42	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	④	3	2	1	目標設定シート・レビュー、自己啓発支援制度規程、各種研修、セミナーの案内（Gmail）
2	6	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）					
2	6	1	人事に関する制度を整備しているか	④	3	2	1	就業規則
2	6	2	給与に関する制度を整備しているか	④	3	2	1	給与規程
2	6	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	④	3	2	1	給与規程・別表
2	6	4	採用制度は文書化されているか	④	3	2	1	就業規則
2	7	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）					
2	7	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	④	3	2	1	スクールリーダー、Googleクラスルーム、ラクモ他

### ①課題

授業評価の実施・評価体制の再検討と実行プランの策定（現状、学生アンケートは実施しているが、各授業ごとの評価の実施や評価体制が不十分なため）

### ②今後の改善方法

2025年度前期には、授業評価の実施・評価体制の実行プランを策定し、2025年度後期から全授業を対象に運用していく。

### ③特記事項

中期計画に関しては、少子化等社会環境が激変する中、中期計画を細密に策定することは一方でリスクを含んでいるため、当学院では中期ビジョンをベースに置いた、これからの時代にふさわしいスピード感のある運営に注力する。

3, 教育活動			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名				
3	1	中項目 目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	④	3	2	1	HP、パンフレット、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	HP、パンフレット、教育課程編成委員会議事録
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	④	3	2	1	HP、パンフレット、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目 教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	HP（シラバス）
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1	HP（シラバス）
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	③	2	1	HP（シラバス）
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	4	③	2	1	HP（シラバス）
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員（すべての教員、職員、学生）に周知を図っているか	④	3	2	1	HP（シラバス）
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	④	3	2	1	学則補足資料:成績について
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4	3	②	1	学生アンケート
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	4	3	②	1	学生アンケート

3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4	3	②	1	学生アンケート
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	④	3	2	1	シラバス
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	4	③	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	職業教育協定書、インターンシップ報告書
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	④	3	2	1	職業教育協定書、インターンシップ報告書
3	2	83	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	④	3	2	1	教育課程委員会議事録、職業教育協定書、学院会議議事録
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	④	3	2	1	インターンシップ一覧表・配属先リスト
3	2	85	企業・地域・行政との連携を図っているか	④	3	2	1	HP（様式4）、学院会議議事録
3	2	86	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	④	3	2	1	HP（海外校での研修・留学制度）
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）					
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	学則(別表、補足資料)
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	④	3	2	1	学則(別表、補足資料)
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	④	3	2	1	学則(別表、補足資料)
3	3	4	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	④	3	2	1	教育課程委員会議事録、職業教育協定書、学院会議議事録
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）					
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	④	3	2	1	学則

3	5	中 項 目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	④	3	2	1	教育課程委員会議事録、職業教育協定書、学院会議議事録	
3	5	2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	④	3	2	1	教育課程委員会議事録、職業教育協定書、学院会議議事録	
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	③	2	1	シラバス、連携授業計画書・報告書	
3	5	41	リメディアル（導入前教育・補習）教育を行っているか	4	③	2	1	パンフレット	

### ① 課題

① 学校運営での課題同様、授業評価の実施・評価体制の再検討と実行プランの策定（現状、学生アンケートは実施しているが、各授業ごとの評価の実施や評価体制が不十分なため）

② リメディアル教育の強化

### ② 今後の改善方法

① に関しては、2025年度前期には、授業評価の実施・評価体制の実行プランを策定し、2025年度後期から全授業を対象に運用し、教員へのフィードバック体制も整えていく。

② に関しては、基本的なパソコンスキルを習得できていない新入生が多いため、入学前のパソコンスキル研修の実行プランを策定し、2026年入学生より運用していく。

### ③ 特記事項

当校の強みの一つである産学連携カリキュラムの策定に関しては、業界関係者等外部関係者の意見を取り入れて実行プランを策定している。

4, 学修成果・教育成果				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名			
4	1	中 項 目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）					
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	④	3	2	1	スクールリーダー成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	④	3	2	1	学則・成績について
4	2	中 項 目	就職率（就職率の向上が図られているか）					

4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	④	3	2	1	学院会議議事録、就職実績報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	④	3	2	1	シラバス
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	④	3	2	1	スクールリーダー就職管理
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	④	3	2	1	パンフレット、HP、オープンキャンパス資料、講師会資料
4	2	5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	④	3	2	1	学院会議議事録、教職員会議資料、講師会資料、理事会資料・議事録
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	④	3	2	1	検定結果報告書
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	④	3	2	1	日本ファッション教育振興協会資料
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	④	3	2	1	日本ファッション教育振興協会資料
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	④	3	2	1	検定結果報告書、HP
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	④	3	2	1	自己評価報告書・検定結果報告書、HP
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）					
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	4	③	2	1	企業等訪問記録、OIFer LINK、パンフレット、HP
4	4	2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	4	3	②	1	企業等訪問記録、OIFer LINK
4	4	3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	4	3	②	1	学院会議議事録、企業等訪問記録、OIFer LINK

①課題

顕著な実績を有する卒業生の把握は一定程度行っているが、全卒業生の動向を体系的に把握・管理することは、個人情報観点から企業も情報を出しにくいいため難しい。

## ②今後の改善方法

キャリア支援課が中心となり、「OIFer LINK」を活用して卒業後の卒業生とのつながりを強固にすることで、卒業生の傾向を把握していく。

5、学生支援			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名			
5	1	中項目 修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）					
5	1	1 学生への修学支援を適切に行っているか	④	3	2	1	個別相談記録、奨学金HP、募集要項
5	2	中項目 就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）					
5	2	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	④	3	2	1	シラバス、パンフレット、HP
5	2	2 キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいるか	④	3	2	1	キャリアコンサルタント資格取得教員
5	2	3 就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	④	3	2	1	学院会議議事（2025就職内定集計表）
5	2	4 関連業界への就職率の向上は図られているか	④	3	2	1	学院会議議事録
5	3	中項目 学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）					
5	3	1 学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4	③	2	1	在校生class room
5	3	2 学生の面談・相談記録があるか	④	3	2	1	学生相談記録
5	4	中項目 学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）					
5	4	1 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	募集要項、奨学金説明資料
5	4	2 公的支援制度の利用について、学生・保証人（保護者）に案内、情報提供しているか	④	3	2	1	募集要項、奨学金説明資料

5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	④	3	2	1	在校生class room、学則、校内レノベーション
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	在校生class room、学則
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	④	3	2	1	在校生class room、不動産業者との提携資料
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）					
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	④	3	2	1	学院会議議事録、退学者低減PJ資料
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	④	3	2	1	学院会議議事録、退学者低減PJ資料
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	④	3	2	1	学院会議議事録、退学者低減PJ資料
5	5	4	退学者数を公表しているか	④	3	2	1	自己評価報告書
5	5	5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	④	3	2	1	学院会議議事録、退学者低減PJ資料
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）					
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	④	3	2	1	学生支援者会資料、LINE
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	④	3	2	1	学生支援者会資料
5	6	3	緊急時の保証人（保護者）等との連絡体制を確保しているか	④	3	2	1	スクールリーダー緊急連絡先、LINE
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）					
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	④	3	2	1	OIFer LINK
5	7	2	学校情報を卒業生に知らせているか（HP・学校便り等）	④	3	2	1	OIFer LINK、HP
5	7	3	学校は同窓会との連携を図っているか	④	3	2	1	OIFer LINK
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	4	③	2	1	OIFer LINK（3D特別ゼミ）、海外留学制度
5	7	22	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	4	3	②	1	OIFer LINK（3D特別ゼミ）

5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	②	1	Googleクラスルーム等ICT環境、産学連携事業
5	7	42	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	④	3	2	1	学則、募集要項

### ① 課題

社会人学生のニーズを踏まえた教育環境の整備。

### ② 今後の改善方法

社会人の学び直しへの対応は専門学校に求められている重要な役割の一つととらえ、社会人学生が当学院に求めるニーズの把握、そのために必要な教育環境について中期的に研究・整備していく。

### ③ 特記事項

校内レノベーションやキッチンカーの導入など、学生のwell-beingに配慮した施策を講じている。

入学式終了後に学生支援者会（保護者会）を実施。教育の特徴、就職状況、退学率・傾向などを説明。交流を図りつつ、保護者側に求める重要な管理・サポートについて、認識共通化を行う。

6、教育環境				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス名
6	1	中 項 目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）					
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか	④	3	2	1	学校設置認可申書、教室配置図、時間割、
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	④	3	2	1	図書台帳、装苑バックナンバー
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	④	3	2	1	設備・備品ファイル
6	1	4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	④	3	2	1	施設案内図、図書台帳、装苑バックナンバー
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	④	3	2	1	HP、在校生class room
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	④	3	2	1	備品チェック/教室メンテナンス/消耗品補充 担当者表
6	1	41	施設設備の点検、補修・修繕等は定期的には適宜行っているか	④	3	2	1	備品チェック/教室メンテナンス/消耗品補充 担当者表
6	2	中 項 目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）					

6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	HP、学院会議議事録、インターンシップ研修契約書
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	④	3	2	1	HP、学院会議議事録、インターンシップ研修契約書
6	2	3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	④	3	2	1	HP、学院会議議事録、インターンシップ研修契約書、評価表
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）					
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1	HP、防火管理規程、防災等関連資料
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	④	3	2	1	消防用設備点検報告書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	④	3	2	1	防災訓練実施要項
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	④	3	2	1	設備管理者の一覧表、各種設備の定期点検票

### ①課題

施設の老朽化に伴う管理体制の強化と修繕計画の策定。

### ②今後の改善方法

総務課が中心となり、教育活動を進める上で必要な設備、教育機器等は定期的に点検、整備を行い、支障が出ないように万全を期す。また中期的な修繕計画を策定し、費用を予算化したうえで整備を進める。

7, 学生の受入れ募集				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス名
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）					
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	パンフレット、OC用説明資料、募集要項、HP
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP、自己評価報告書
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP

7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP、OC用説明資料
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP、卒展招待案内
7	1	41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人（保護者）に案内しているか	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP、プレスリリース、学生支援者説明会
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）					
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	④	3	2	1	募集要項
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選考を行っているか	④	3	2	1	募集要項
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）					
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	募集要項、HP
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④	3	2	1	募集要項、HP
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応しているか	④	3	2	1	募集要項、HP

### ①課題

18歳人口減少に対応した、幅広い学生の受け入れ態勢の確立。

### ②今後の改善方法

- 2026年4月の校名変更と新たなブランディングにより、当学院の魅力をさらにアピールできる広報戦略に取り組み実行する。
- 入学広報課を中心に、2027年度以降の募集活動にあたり、関西圏での高校ガイダンス強化、関西圏以外の入学希望者の獲得、留学生の拡大、社会人入学生の拡大等少子化に対応した幅広い学生の受け入れ態勢策を立案する。

8, 教育の内部質保証システム			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名				
8	1	中項目 関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか）						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	理事会議事録、資料
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1	コンプライアンス規程
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1	就業規則その他諸規程
8	1	21	セクシュアル、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	④	3	2	1	ハラスメント防止規程
8	2	中項目 個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1	情報管理諸規程、情報セキュリティ委員会
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	④	3	2	1	情報管理諸規程、情報セキュリティ委員会
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	④	3	2	1	情報管理諸規程、情報セキュリティ委員会
8	3	中項目 学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	④	3	2	1	自己評価報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	④	3	2	1	自己評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	④	3	2	1	学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会議事録・資料
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	④	3	2	1	学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会議事録・資料
8	4	中項目 改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	④	3	2	1	教職員会議資料、HP

8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	学院会議議事録（企業コラボ）、企業等訪問記録、OIFer LINK
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	④	3	2	1	理事会・評議員会資料
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	④	3	2	1	理事会・評議員会資料
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	④	3	2	1	理事会・評議員会資料
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	④	3	2	1	理事会・評議員会資料
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）					
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	職業実践専門課程様式4、HP、自己評価報告書
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	自己評価報告書、HP
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1	自己評価報告書、HP

9, 財務			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名				
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）					
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	④	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	4	③	2	1	理事会・評議員会資料
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）					
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	予算書、理事会・評議員会会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1	予算書、月次予算チェック表
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）					

9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	④	3	2	1	会計監査報告書
9	3	2	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されているか	④	3	2	1	寄付行為
9	3	3	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか	④	3	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）					
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	④	3	2	1	財務諸表、HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	④	3	2	1	HP

### ①課題

財務基盤のさらなる強化のための新たな収入源の開発。

### ②今後の改善方法

学院内にプロジェクトを設置し、ワークショップの開発や卒展資金調達の仕組み作りなど継続的に取り組んでいく。

10, 社会貢献・地域貢献				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名			
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）					
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	教育事業計画、学院会議議事録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）					
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	④	3	2	1	校外清掃当番表、学院会議議事録
10	2	2	目標・計画に基づく社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施している	④	3	2	1	校外清掃当番表、学院会議議事録

### ①課題

地域に対するさらなる貢献と地域住民に迷惑をかけない学生指導の徹底

### ②今後の改善方法

- 地元商店街と連携したワークショップの企画提案～運営実施まで、学生が中心となった地域貢献の取り組み事例を増やしていく
- 現状取り組んでいる校外清掃活動の継続
- 地元住民に迷惑をかけないマナーの徹底指導

11, 国際交流			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス名				
11	1	中 項 目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）					
11	1	1	④	3	2	1	募集要項、海外留学支援規程	
11	1	2	④	3	2	1	募集要項、海外留学支援規程	
11	1	3	④	3	2	1	大専各留学生支援サイトの活用	
11	1	4	④	3	2	1	パンフレット、HP、Polimoda協定書	
11	1	5	④	3	2	1	パンフレット、HP、Polimoda協定書	
11	1	6	④	3	2	1	海外留学支援規程	

### ①課題

18歳人口の減少に伴う、海外からの留学生の獲得。

### ②今後の改善方法

入学広報課を中心に、海外留学生向け広報戦略を策定し、2027年募集から実行していく。

キャリア支援課を中心に、留学生の就職支援を強化するため、留学生の受け入れ企業の開拓に取り組んでいく。

### ③特記事項

海外留学支援制度を整備し、イタリアPolimoda校への留学を金銭面、生活面で支援している。

## 成績評価表

レターグレードと評価区間、および評価基準表

		評価基準
A	(90点以上)	基本的な目標を十分に達成し、 優秀な成績をおさめている
B	(90点未満～75点以上)	基本的な目標を十分に達成している
C	(75点未満～65点以上)	基本的な目標を達成している
D	(65点未満～55点以上)	基本的な目標を最低限達成している
E	(55点未満)	基本的な目標を達成していない

## 学科別成績評価

		ファッションクリエイター学科 ファッションビジネス学科 スタイリスト学科	ブランドマネジメント学科	スーパーデザイナー学科
A	(90点以上)	A	A	A
B	(90点未満～75点以上)	B	B	B
C	(75点未満～65点以上)	C	C	C(不合格)
D	(65点未満～55点以上)	D	D(不合格)	D(不合格)
E	(55点未満)	E(不合格)	E(不合格)	E(不合格)

## 卒業認定に関する方針

各学科の在学期間に定められた履修規定に従って科目の授業時間を修得する事により卒業が認定され、専門士あるいは高度専門士の称号が与えられる。  
なお、各学科には以下の卒業作品制作が必要である。

- ・スーパーデザイナー学科（4年制）

卒業年次において個人ブランド5スタイリング以上の制作。卒業作品発表会で発表。

- ・ファッションクリエイター学科（3年制）

グループによる8スタイリング以上の作品制作。卒業作品発表会で発表。

- ・ブランドマネジメント学科（3年制）

市場起点のオリジナル商品の企画制作、企画案、商品の展示発表。

- ・スタイリスト学科（2年制）

卒業作品発表会に向けスタイリングの企画立案、ショー形式による発表。

- ・ファッションビジネス学科（2年制）

グループによる卒業作品発表会での1日限定オリジナルショップ開発と運営。